

研究名：

末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）挿入時の同側内頸静脈迷入防止に関する研究

1．研究の目的

末梢挿入式中心静脈カテーテル（peripherally inserted central catheter：PICC）は、主に重症な患者さんにおいて薬剤投与ルートや採血用のルートとして留置されることがあります。放射線透視下での挿入が確実ですが、重症な患者さんを透視検査室へ移動することはリスクを伴います。当院 PICU においてはベッドサイドで非透視下に挿入しておりますが、主に内頸静脈内にカテーテル先端が迷入し不適切な位置に留置されてしまうことがあります。本研究では PICC 挿入時の体位を工夫し内頸静脈内のガイドワイヤーを超音波検査で確認することで、挿入時の迷入防止効果を検討することを目的としました。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2017 年 5 月～2018 年 9 月および 2023 年 1 月～2023 年 12 月までに PICC を留置された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月

研究方法：PICC 挿入時に首向きや上腕の角度の工夫、内頸静脈内にガイドワイヤーが迷入していないかを超音波検査で確認します。PICC 挿入後にレントゲンでカテーテル先端の位置を確認し、適切な位置に留置できているかを調査します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、ICU 入室時情報、既往歴、胸部レントゲン検査、有害事象等の発生状況等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター集中治療科

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年8月末までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 集中治療科 徳田雄亮

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7472）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 集中治療科 徳田雄亮